

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 174 2014.4.13 連絡先 402-1622 >

秘密保護法Lock (6日) パレードに参加しました 主催: Stop! 秘密保護法わかやま共同行動

6日(日)、秘密保護法の廃止を求めて市役所前から岡口門前までパレードが行われました。「特定・秘密・保護法・反対!」「壊すな・憲法!」「隠すな・情報!」とリズムをつけて声をそろえアピールしながら歩いていると、対向する車から反応があり、励まされました。

和歌山では法成立後の今年になってからも、毎月、パレードや学習会、署名行動に取り組んでい

非婚のひとり親家庭に みなし寡婦控除実施 保育料軽減へ

非婚(結婚歴のない)ひとり親家庭には寡婦(夫)控除が適用されず保育料負担が大きくなっていましたが、今年度から寡婦(夫)控除がみなし適用され、保育料が軽減されます。2013年12月議会の一般質問で取り上げたものが実現しました。

ます。また、全国でも廃止を求める多彩な行動が取り組まれ、1月24日には「秘密法に反対する全国ネットワーク」が結成さ



南畑議員も参加しました

れました。同ネットワークは法律が強行された昨年12月6日を忘れないよう、毎月6日を全国いっせい行動(6日:ロックアクション:法をLockするRockなアクション)を呼びかけています。

ぜひ、6月6日(金)の「Lock(6日)パレード」にご参加ください。

みち子のひとりごと 桜

時間
な
ん
だ
か
心
た
の
し
い
て
い
る
よ
う
な
錯
覚
分
自
身
が
花
で
飾
ら
れ
て
い
る
よ
う
な
錯
覚
問
が
。



「花びら、車に付けたん?」の質問が。まついており、その様子にびっくりしたのでしよう、母から思わず「花びら、車に付けたん?」の質問が。ある場所で、桜の木の下に車を止めていたところ、風に舞った花びらが雨の水滴のついた車にはりつき、まるで車がたくさんの花びらで着飾ったかのように感じました。車を走らせて家についたもまだ花びらはそのま

先週から今週にかけて、後援会や年金者組合など、6つのグループのお花見に行かせていただきました。一つを除いて、アコ、ディオンを担いでの参加です。ポカポカ陽気の日から、ヒヨウが降るような日まで、この1週間のお天気の移り変わりの激しさをじかに感じました。また、満開から桜吹雪、葉桜まで、楽しませてもらいま

こんにちは加藤なおとです



4月に入る手前から咲き出した今年の桜も、早見納めです。1年52週間のうち、この1週間だけ咲き誇る桜。幾年も繰り返す人はそれをいとおしんできました。今年の桜の下で交わされたのは、「消費税8%腹立つわ」「年金下げた保険料は上げたい社会保障のためなんて言うわ」「ため息交じりの呟きでした。政府は今年度増加分約5兆円を社会保障のために使うと宣伝していますが、それは欺瞞というものです。実際には1割しか充てられません。子育て支援として保育の受け皿に。あとの9割はもともと租税で予算化されるべき基礎年金財源、社会保障費の自然増分などを消費税にすり替えるという欺瞞行為です。社会保障に充てるとなれば今後消費増税もやむなし。こうして世論をかわす姑息な手段は許せません。新緑の5月がもうすぐ。私の一番好きな季節、つつじも満開に咲き乱れ、心も躍ります。みなさんはいかが？

日本共産党文教委員会責任者

藤森 毅さんに聞く

安倍政権の道徳の「教科化」は
どういうもの？

安倍政権の「教科化」は、まずは検定教科書で教える、ゆくゆくは優・良・可などで成績で評価しよう、というものです。

検定教科書となれば、自民党などが中身に介入し、「愛国心」重点などとなりかねません。そして「教科書通りに」ということで、先生が「個人の尊厳に力点をおきたい」と思っても、いじめのことをじっくり話し合いたい思っても、許されないようになってしまいます。

また、評価となれば「いい成績をもらうため」と本心と違う、期待される発言や行動をする子どももでてきます。憲法の「思想・良心の自由」を侵すもので、許されません。

現在、道徳は小中学校で週一回、教科外の「道徳の時間」として設定され、年35コマ（小学校は1コマ45分、中学校は1コマ50分）程度教えられています。教科書はなく、児童・生徒に対する評価もありません。

学校では「心のノート」のほかに独自教材や、民間会社の教材などが使われてきました。4月からの全国の小中学校に配布される「私たちの道徳」の使用も、義務付けではありません。

青年法律家協会憲法記念行事 憲法を考える夕べ

集団的自衛権のトリックと安倍政権

4月25日(金)

講師 半田 滋氏

5:30 開場

6:00 開演

和歌山県民文化会館
小ホール

入場無料

1955年栃木県生まれ。下野新聞社を経て、91年中日新聞社入社、東京新聞編集局社会部記者を経て、2007年8月より編集委員。11年1月より論説委員兼務。92年より防衛庁取材を担当。07年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・共同ジャーナリスト基金賞（大賞）受賞。

こんにちは松坂みち子です No.174